

No	質問
1	鹿屋基地への一時配備の際は住民説明会が複数回実施された一方、嘉手納基地への配備については住民説明会の実施はなく、行政への説明のみで配備が開始されました。取り扱いに大きな差があるが理由を伺います。
2	米軍機が一時配備される際、国からある程度余裕を設け前もって丁寧な説明や事前調整を受ける自治体がある一方、今回の嘉手納基地へのMQ-9配備については、受け入れ先となる三連協に対し配備直前の唐突ともいえるタイミングで説明がなされました。この対応の差について説明を頂きたい。
3	10月25日の沖縄防衛局から嘉手納町議会への説明会にて「無人偵察機配備の件に関し、住民説明会を行わない」との説明があった旨新聞で報道されました。嘉手納基地への配備に関し住民説明会を実施しない理由を伺います。
4	嘉手納基地周辺住民の不安や懸念を解消するための防衛省の取り組みを伺います。
5	本件に関し、地元で説明される前に新聞等で報道された理由を伺います。
6	嘉手納基地以外での検討はさたのでしょうか。鹿屋航空基地に一時展開が出来たのであれば嘉手納基地以外への展開でも可能なのではないかと伺います。
7	嘉手納基地へMQ-9を配備する理由を伺います。
8	嘉手納基地周辺住民から航空機騒音被害への苦情が増加している中でのMQ-9配備は、基地負担の増加に繋がるのではないかと懸念しております。嘉手納基地における基地負担軽減の考え方を伺います。
9	令和5年10月防衛省発表資料「米空軍MQ-9の展開について」6ページ記述の「安定的に運用」について具体的な説明を伺います。
10	鹿屋基地へのMQ-9の一時配備の際、鹿屋市と九州防衛局とで協定書を交わしたようですが、その経緯及び理由を伺います。
11	MQ-9配備に伴う、無人偵察機本体以外の配備に関する今後のスケジュールを伺います。
12	MQ-9の所属部隊は、第353特殊作戦航空団と同様に第18航空団とは指揮系統が異なる別組織と説明がありましたが、どのような指揮系統なのか伺います。また、運用する部隊の所属、部隊名、隊員を含む、管理体制を伺います。
13	MQ-9の嘉手納基地への展開に伴い、約100名の部隊員のほか、その家族も帯同するのか伺います。
14	MQ-9の嘉手納基地への展開に伴い、約100名の部隊員が同基地へ配備されることに伴う事件・事故等の発生増加が危惧されますが、国の見解を伺います。
15	MQ-9の嘉手納基地への展開に伴い、約100名の部隊員の宿泊場所は基地内か基地外かを伺います。また、基地外の場合どのような施設を想定しているのか伺います。
16	MQ-9の嘉手納基地への展開に伴い、新た施設整備等があるのか伺います。
17	新施設の建設があるとすれば場所はどこか伺います。
18	関連施設の新設があるとすればどのような施設が設置されるのか伺います。
19	MQ-9に係る各種整備は全て嘉手納基地内で行われるのか伺います。

No	質問
20	現在のMQ-9の駐機場所は滑走路南側だと思われませんが、将来的に北側へ移されることはないか伺います。
21	小型とはいえ8機ものMQ-9が嘉手納基地へ配備になるとのことですが、駐機スペースを圧迫し、その他の航空機により旧海軍駐機場若しくはパパループが一時的にでも使用される可能性があるのではないかと伺います。
22	過去15年間におけるMQ-9に関する事故の発生状況（件数、発生場所、内容、原因、発生後の日米の対応）について伺います。また、安全性の担保に関して国の見解を伺います。
23	令和5年8月22日に海上自衛隊鹿屋基地で発生したMQ-9の滑走路逸脱事案の原因の詳細と今後の防止対策について伺います。
24	鹿屋基地でのオーバーラン事故発生後の運用再開について、防衛省（局）はMQ-9の安全性の判断を具体的にどのように行ったのか伺います。
25	10月の防衛局からの説明によると、鹿屋市で起こった滑走路逸脱事案については、「機体の安全性に問題はなく、飛行の安全に関わる構造上の欠陥はないことを確認」とのことでしたが、つまりは操縦者による操縦ミスによるものだったのか伺います。
26	万が一嘉手納基地でオーバーラン事故が発生した場合、基地外まで機体が逸脱しないような対策はされていますか。対策されていればそれはどのようなものか伺います。
27	MQ-9が通信障害等により制御不能に陥った場合の対策は講じられているか伺います。
28	MQ-9は米本国から鹿屋までは分解された状態で大型輸送機により運ばれたかと思いますが、嘉手納基地へはMQ-9本体が飛来しました。鹿屋航空基地から嘉手納基地へ飛来したMQ-9はどこから機体がコントロールされていましたか。
29	MQ-9の操縦はどのように行うのか伺います。 <ul style="list-style-type: none">・機体1機の操縦に要する人数や具体的な役割・遠隔操縦が可能な距離・飛行中の機体の状況把握方法
30	令和5年10月防衛省発表資料「米軍無人機MQ-9の滑走路逸脱事案について」の2ページで「機体の安全性に問題はなく、飛行の安全に関わる構造上の欠陥はない」とされているため、操縦者の操作が原因で滑走路逸脱が発生したものと史料されます。偵察活動以外に離発着訓練（タッチアンドゴー）等、操縦者のための完熟訓練を嘉手納基地で行うのか伺います。
31	MQ-9の嘉手納基地への展開は8機とのことですが、同基地での今後の運用において機体増加の可能性があるのか伺います。
32	MQ-9は、他の航空機等との衝突を避けるための回避機能や対策は取られているのか伺います。
33	MQ-9の飛行中、機体本体に異常が起きた場合、どのような対処を行うのか伺います。
34	10月25日（水）の琉球新報の報道内容に、武器搭載について「有事を含めて将来にわたって仕様を変えないと言い切ることは難しい」とありましたが事実関係を伺います。

No	質問
35	MQ-9は情報収集を任務とした機体であると認識していますが、嘉手納基地における今後の展開において攻撃任務を行うことも想定しているのか伺います。
36	有事、緊急時も含め、嘉手納基地へ配備されるMQ-9は、攻撃機として運用しないこと米軍からコンセンサスを得られているのか、米側との協議の経緯も含め伺います。
37	鹿屋基地での一時配備の際、地元からの質問に対し、「MQ-9を偵察型から攻撃型へ形態を変更する場合、相当な時間を要するものであり、日本への展開期間中に機体の使用を変更することはできないことを米側にも確認している。」との回答がされたのを確認しました。一方、10月24日、琉球新報1面に掲載された内容によると、「弾薬搭載可能」との回答が米軍からあったと掲載されている。この違いは何か伺います。
38	嘉手納基地におけるMQ-9の配備期間を伺います。
39	期間を定めない場合は、嘉手納基地への永久的な配備になるのか伺います。
40	嘉手納基地での展開期間に期限が設けられていない理由を伺います。
41	8機ものの配備とあるが、そんなに多くもの機体が必要な理由は。また一度にどのくらいの機体が運用されるのか伺います。
42	自衛隊による偵察活動で十分ではないのでしょうか。自衛隊単独ではISRを担えないのか伺います。
43	MQ-9が偵察活動を行う地域・海域、飛行ルートを伺います。
44	市街地上空の飛行や夜間・早朝の飛行も想定しているのか伺います。その際の被害軽減策はどのように行うのか伺います。
45	<p>滞空時間が約30時間と1回の飛行が長時間可能との事だが、MQ-9の具体的な性能等を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛行性能（速度、航続時間、航続距離、最大高度、飛行可能な天候） ・機能（警戒監視能力、それ以外の機能） ・その他（機体の長さ、重量、動力、価格など）
46	<p>騒音（特に夜間）による影響が危惧されるところですが、鹿屋基地への一時配備中における運用状況の実績を示していただきたい。（騒音発生時刻若しくは日中・夜間・深夜早朝における騒音発生の実績は）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛行回数 ・1回あたりの飛行時間 ・離着陸時及び飛行中の騒音 ・エンジン調整等地上での運用の回数及び騒音
47	嘉手納基地上空、嘉手納基地周辺の居住地上空を周回するような飛行等は行われるのか伺います。